

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月26日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-3282-0009
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 平成25年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	169,707	2.1	27,176	6.2	26,523	14.8	17,678	53.4
24年12月期第2四半期	166,290	△10.8	25,585	△14.5	23,094	△23.6	11,523	△35.0

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 28,944百万円 (116.7%) 24年12月期第2四半期 13,356百万円 (△20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	32.29	32.27
24年12月期第2四半期	20.98	20.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	691,403	579,370	83.6
24年12月期	679,342	555,898	81.7

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 578,114百万円 24年12月期 554,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年12月期	—	12.50	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	339,000	1.8	51,000	△3.6	48,000	△2.0	28,000	15.7	51.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	576,483,555株	24年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	29,089,014株	24年12月期	29,062,630株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	547,412,193株	24年12月期2Q	549,320,986株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年1月31日に公表いたしました連結業績予想について、本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から6月30日までの6か月間）の売上高は1,697億円（前年同期比2.1%増）、営業利益は271億円（同6.2%増）、経常利益は265億円（同14.8%増）、四半期純利益は176億円（同53.4%増）となりました。

- ◎ 売上高及び営業利益は、国内の医療用医薬品の堅調な推移やProStrakan社の順調な伸長に加えて、為替の円安進行もあり増収増益となりました。
- ◎ 経常利益は、営業利益の増益のほか、為替差益の計上や持分法による投資損失の減少等があり、四半期純利益は、関係会社株式売却益等の特別利益の計上があり、それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（注）第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、添付資料10ページ「3. 四半期連結財務諸表 (6) セグメント情報等」をご覧ください。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、1,299億円（前年同期比1.8%増）となり、営業利益は241億円（同2.5%増）となりました。

- ◎ 国内の医療用医薬品は、昨年4月に実施された薬価基準引下げの影響がありましたが、売上高は前年同期を上回りました。
 - ・主力品である腎性貧血治療剤「ネスプ」は昨年12月発売の液量統一品の出荷反動等により、売上高が前年同期を下回りました。抗アレルギー点眼剤「パタノール」は花粉飛散量が多かったため大幅に増加しましたが、抗アレルギー剤「アレロック」は後発医薬品の影響もあり前年並みとなりました。また、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」も後発医薬品の影響等により売上高が前年同期を下回りました。
 - ・二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤「ロミプレート」、経皮吸収型持続性がん性疼痛治療剤「フェントス」等は順調に伸長しました。
 - ・世界初のアデノシンA2A受容体拮抗薬であるパーキンソン病治療剤「ノウリアスト」を5月に発売しました。
 - ・2型糖尿病治療剤「オングリザ」は5月に大塚製薬(株)から製造販売承認を承継しました（7月に発売）。
- ◎ 医薬品の輸出及び技術収入は、輸出が堅調に推移したものの、協和キリン富士フィルムバイオロジクス(株)からのバイオシミラー開発に係る技術収入等の減少により、売上高は大幅に減少しました。
- ◎ ProStrakan社は、がん性疼痛治療剤「Abstral」等の主力製品が順調に伸長し、売上高は107億円（前年同期比39.6%増）、営業損失（のれん等償却後）は3億円（同83.1%減）となりました。

② 研究開発

がん領域

（国内）

- ・抗悪性腫瘍酵素製剤「ロイナーゼ」の筋肉内投与に係る用法・用量追加の承認を2月に取得しました。
- ・抗悪性腫瘍剤「ダカルバジン」の褐色細胞腫の効能・効果追加の承認を3月に取得しました。
- ・抗悪性腫瘍剤「5-FU注」の膵がんにおける効能・効果及び用法・用量追加の承認申請を5月に行いました。
- ・持続型G-C-S-F製剤KR N125のがん化学療法による発熱性好中球減少症を対象とした承認申請を6月に行いました。
- ・二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」の副甲状腺癌に伴う高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は再発の原発性副甲状腺機能亢進症に伴う高カルシウム血症の効能・効果追加の承認申請を6月に行いました。
- ・がん性疼痛治療剤KW-2246（海外製品名「Abstral」）を承認申請中です（平成24年11月申請）。

腎領域

（国内）

- ・腎性貧血治療剤「ネスプ」の小児適応追加を承認申請中です（平成24年9月申請）。

（海外）

- ・中国において二次性副甲状腺機能亢進症治療剤Cinacalcet Hydrochloride（日本製品名「レグパラ」）を承認申請中です（平成23年10月申請）。
- ・中国において透析施行中の腎性貧血を対象としたKR N321（日本製品名「ネスプ」）の第Ⅲ相臨床試験を4月に開始しました。

免疫・アレルギー領域

（国内）

- ・尋常性乾癬を対象としたKH K4827の第Ⅲ相臨床試験を3月に開始しました。

中枢神経系領域

(国内)

- ・血栓溶解剤「アクチバシン」の虚血性脳血管障害に対する治療可能時間を発症後3時間以内から発症後4.5時間以内へ延長する一部変更の承認を2月に取得しました。
- ・パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」の承認を3月に取得し、5月に発売しました。
- ・抗てんかん剤「トピナ」の小児適応追加と新剤型（細粒剤）追加の2点について、承認申請中です（平成24年12月申請）。

その他領域

(国内)

- ・合成ペニシリン製剤「パセトシン」のヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法（プロトンポンプ阻害薬、クラリスロマイシン又はメトロニダゾールとの3剤併用）に係る適応追加の承認を2月に取得しました。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、412億円（前年同期比2.8%増）となり、営業利益は31億円（同52.1%増）となりました。

(国内)

- ◎ 医薬・医療領域の売上高は前年同期を上回りました。
 - ・医薬・医療領域では、医薬用アミノ酸や核酸関連物質、その他の医薬品原薬等が堅調に推移しました。
 - ・トラネキサム酸は、出荷が集中した前年同期に比べて、売上高が減少しました。
- ◎ ヘルスケア領域の売上高は、飲料・食品用原料は前年同期を下回った一方で「オルニチン」をはじめとする通信販売事業は前年同期を上回りました。

(海外)

- ◎ 海外事業の売上高は、為替の円安進行もあり前年同期を上回りました。
 - ・米国では、サプリメント向けのアミノ酸の一部で競争激化のため前年同期を下回りましたが、全体の売上高は前年同期を上回りました。
 - ・欧州・アジアでは、輸液用アミノ酸が引き続き堅調に推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ120億円増加し、6,914億円となりました。
 - ・流動資産は、受取手形及び売掛金や短期貸付金等の減少がありましたが、現金及び預金やたな卸資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ25億円増加し、3,065億円となりました。
 - ・固定資産は、有形固定資産や販売権等の増加により、前連結会計年度末に比べ95億円増加し、3,848億円となりました。
- ◎ 負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ114億円減少し、1,120億円となりました。
- ◎ 純資産は、四半期純利益の計上に加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ234億円増加し、5,793億円となりました。
この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント上昇し、83.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

- ◎ 当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末の503億円に比べて178億円減少し、325億円となりました。資金運用としての親会社への短期貸付金のうち、現金及び現金同等物の範囲に含まれない貸付期間が3か月超のものを160億円増やした影響により、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は大きく減少しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、206億円の収入（前年同期比35.3%減）となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益308億円、減価償却費99億円、のれん償却額57億円等であります。一方、主な支出要因は、法人税等の支払額165億円等であります。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、342億円の支出（前年同期比118.5%増）となりました。主な支出要因は、短期貸付金の純増加額159億円、無形固定資産の取得による支出127億円、有形固定資産の取得による支出107億円等であります。一方、主な収入要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入37億円、関係会社株式の売却による収入32億円等であります。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、53億円の支出（前年同期比60.2%減）となりました。主な支出要因は、配当金の支払額54億円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間までの連結業績は、為替が想定より円安で推移する一方、主力品の「ネスプ」は昨年末の液量統一品の出荷反動のため当初計画を下回りました。また、当初計画に含めていた技術収入の一部が次期の計上予定となっております。このような業績動向等を踏まえ、通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、平成25年1月31日に公表した通期の連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	338,000	55,000	49,000	30,000	54 80
今回修正予想 (B)	339,000	51,000	48,000	28,000	51 15
増減額 (B - A)	1,000	△4,000	△1,000	△2,000	—
増減率 (%)	0.3	△7.3	△2.0	△6.7	—
前期実績	333,158	52,905	49,001	24,199	44 12

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,577	24,890
受取手形及び売掛金	101,556	98,515
商品及び製品	40,334	45,754
仕掛品	12,176	14,349
原材料及び貯蔵品	10,931	10,808
繰延税金資産	10,369	10,656
短期貸付金	98,194	94,144
その他	9,228	7,811
貸倒引当金	△381	△426
流動資産合計	303,988	306,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	134,875	130,038
減価償却累計額	△94,114	△89,547
建物及び構築物(純額)	40,760	40,490
機械装置及び運搬具	143,595	147,459
減価償却累計額	△124,200	△127,624
機械装置及び運搬具(純額)	19,395	19,835
土地	53,386	54,802
建設仮勘定	7,360	8,789
その他	48,166	47,233
減価償却累計額	△42,196	△40,887
その他(純額)	5,969	6,346
有形固定資産合計	126,872	130,264
無形固定資産		
のれん	168,850	165,245
販売権	36,214	45,539
その他	2,442	2,125
無形固定資産合計	207,506	212,910
投資その他の資産		
投資有価証券	23,654	24,786
繰延税金資産	7,724	6,309
その他	9,871	10,881
貸倒引当金	△276	△253
投資その他の資産合計	40,974	41,723
固定資産合計	375,353	384,898
資産合計	679,342	691,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,303	23,411
短期借入金	5,699	5,814
未払金	29,009	26,567
未払法人税等	15,777	12,829
売上割戻引当金	771	822
ポイント引当金	187	225
賞与引当金	241	214
その他	7,784	7,492
流動負債合計	85,774	77,379
固定負債		
繰延税金負債	11,262	11,578
退職給付引当金	19,503	19,185
役員退職慰労引当金	114	114
環境対策引当金	331	321
資産除去債務	383	383
その他	6,074	3,069
固定負債合計	37,668	34,653
負債合計	123,443	112,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,329	512,328
利益剰余金	48,127	60,331
自己株式	△26,538	△26,573
株主資本合計	560,663	572,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,264	995
為替換算調整勘定	△3,528	4,288
その他の包括利益累計額合計	△5,792	5,283
新株予約権	203	241
少数株主持分	823	1,014
純資産合計	555,898	579,370
負債純資産合計	679,342	691,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	166,290	169,707
売上原価	61,968	64,547
売上総利益	104,321	105,159
販売費及び一般管理費		
研究開発費	22,122	20,988
のれん償却額	6,070	5,749
その他	50,542	51,244
販売費及び一般管理費合計	78,736	77,982
営業利益	25,585	27,176
営業外収益		
受取利息	285	375
受取配当金	442	529
為替差益	—	433
デリバティブ評価益	16	668
その他	675	396
営業外収益合計	1,419	2,402
営業外費用		
支払利息	81	144
為替差損	45	—
固定資産処分損	414	217
持分法による投資損失	2,549	2,075
その他	818	618
営業外費用合計	3,909	3,055
経常利益	23,094	26,523
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2,758
固定資産売却益	—	1,033
投資有価証券売却益	—	662
特別利益合計	—	4,455
特別損失		
関係会社株式評価損	—	121
投資有価証券売却損	324	—
特別損失合計	324	121
税金等調整前四半期純利益	22,769	30,856
法人税等	11,212	13,134
少数株主損益調整前四半期純利益	11,556	17,722
少数株主利益	32	44
四半期純利益	11,523	17,678

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,556	17,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	294	3,259
為替換算調整勘定	1,504	7,963
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	1,799	11,222
四半期包括利益	13,356	28,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,306	28,754
少数株主に係る四半期包括利益	49	190

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,769	30,856
減価償却費	9,652	9,984
のれん償却額	6,070	5,749
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△643	△331
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△212	△558
受取利息及び受取配当金	△727	△904
支払利息	81	144
持分法による投資損益 (△は益)	2,549	2,075
有形固定資産除売却損益 (△は益)	77	△937
投資有価証券売却損益 (△は益)	316	△662
関係会社株式売却損益 (△は益)	△0	△2,755
売上債権の増減額 (△は増加)	5,441	4,552
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,706	△5,671
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,265	△4,398
その他	517	△708
小計	38,921	36,434
利息及び配当金の受取額	792	1,024
利息の支払額	△76	△188
法人税等の支払額	△7,670	△16,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,966	20,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,321	△10,794
有形固定資産の売却による収入	343	1,651
無形固定資産の取得による支出	△7,131	△12,755
投資有価証券の取得による支出	△3,508	△1,950
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,247	3,766
関係会社株式の売却による収入	0	3,247
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△111	—
定期預金の預入による支出	△1,617	△3,687
定期預金の払戻による収入	1,917	2,965
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△11	△15,999
その他	△470	△660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,663	△34,218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△155	307
長期借入金の返済による支出	△56	—
自己株式の取得による支出	△7,482	△66
配当金の支払額	△5,557	△5,475
少数株主への配当金の支払額	△25	—
その他	△60	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,339	△5,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	152	1,031
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,115	△17,821
現金及び現金同等物の期首残高	107,555	50,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	110,671	32,512

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

「II 当第2四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	129,206	40,501	169,707	—	169,707
セグメント間の内部売上高	743	706	1,450	△1,450	—
計	129,950	41,207	171,157	△1,450	169,707
セグメント利益	24,125	3,103	27,228	△51	27,176

注1. セグメント利益の調整額△51百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの関係会社管理区分を見直したことに伴い、従来「その他」セグメントに含まれていた関係会社を「医薬」セグメントに組み替え、「その他」セグメントを廃止しております。

なお、当該変更を反映した前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	126,950	39,340	166,290	—	166,290
セグメント間の内部売上高	643	742	1,385	△1,385	—
計	127,593	40,082	167,675	△1,385	166,290
セグメント利益	23,527	2,040	25,567	17	25,585

注1. セグメント利益の調整額17百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。